



# junca platform

プロジェクトのご案内

junca Holdings

This material is confidential. 本資料は無断転載及び無断配布を固く禁じます





## アジア経済のさらなる発展へ向けて

アジア地域の経済発展は日々加速し、目覚ましいものがあります。

しかし、欧米をはじめとした先進国と比較した場合、まだまだ経済発展の余地のある国は多いにあり、

アジア諸国の経済格差をはじめとした課題を解決していくことも非常に重要な取り組みです。

我々は、アジアの要所として西洋が拠点を築き活動を展開した歴史を持つフィリピンから

Junca Platformにおける最先端のテクノロジーによる取り組みを通し、

アジア地域のさらなる経済発展を目指し、寄与・貢献してまいります。



# 本プロジェクトの目的

## アジア経済の活性化、人材育成・教育支援による 「世界平和」の実現

junca platform プロジェクトでは決済・通貨・金融などにおいて根本的な改革・革新が期待されるBlockchainテクノロジーを活用し、アジア地域の経済や流通をよりスムーズなものとし、また、流動的な動きをみせるアジアの人材育成を目指し、教育機関の設立や職業訓練校、奨学金制度の確立など、さらなる人材価値の向上へ、取り組みを進めて参ります。これらの取り組みが世界平和へと繋がることを我々は確信しています。





# junca platform のコンセプト

アジア圏の WEB3.0 に革命を起こす

junca Platform プロジェクトが開発した総合型金融アプリ

## junca Platform

junca Platform はアジアの要所として西洋が拠点を築き活動を展開した歴史を持つフィリピンを拠点とし、フィンテックサービスのニュースタンダードとなりつつある”ブロックチェーン”テクノロジーを通してアジア地域のさらなる経済発展を目指し、アジア圏に”junca 経済圏”を創造することを目指して活動しています。

"アジアの経済改革に貢献することが、世界平和につながる "

という理念のもと、流動的な動きをみせるアジアの人材育成を目指し、教育機関の設立や職業訓練校、奨学金制度の確立など、さらなる人材価値の向上へ、取り組みを進めて参ります。

これらの取り組みが世界平和へと繋がることを我々は確信しています。



# アジアの経済規模について

## 世界最大人口を要する一大経済圏

面積 20,774,161 km<sup>2</sup>

人口 40.8 億人 (世界比: 53%)

国数 26 カ国

経済 28 兆 9,680 億 USD (世界比: 34%)

日本・インド・インドネシア・韓国・カンボジア・北朝鮮・シンガポール・スリランカ・タイ・台湾・中国・ネパール・バングラデシュ・パキスタン・東ティモール・フィリピン・ブルネイ・ブータン・ベトナム・香港・マカオ・マレーシア・ミャンマー・モルディブ・モンゴルラオス

※国・地域の定義は、外務省 - 国・地域に準ずる



世界経済のネタ帳 - <https://ecodb.net/area/A/> より引用



# 拠点となるフィリピンについて

## アジアの中心地に位置し、バイリンガル人材が豊富

首都 マニラ (人口約 1,288 万人)

面積 299,404 km<sup>2</sup>

人口 1 億 961 万人 (識字率 98%)

経済 3,594 億 USD (GDP)

通貨 フィリピン・ペソ (PHP)

宗教 カトリック 83%、  
その他キリスト教 10%、イスラム教 5%





# 拠点となるフィリピンについて

## 若年層の高い人口比率と失業率

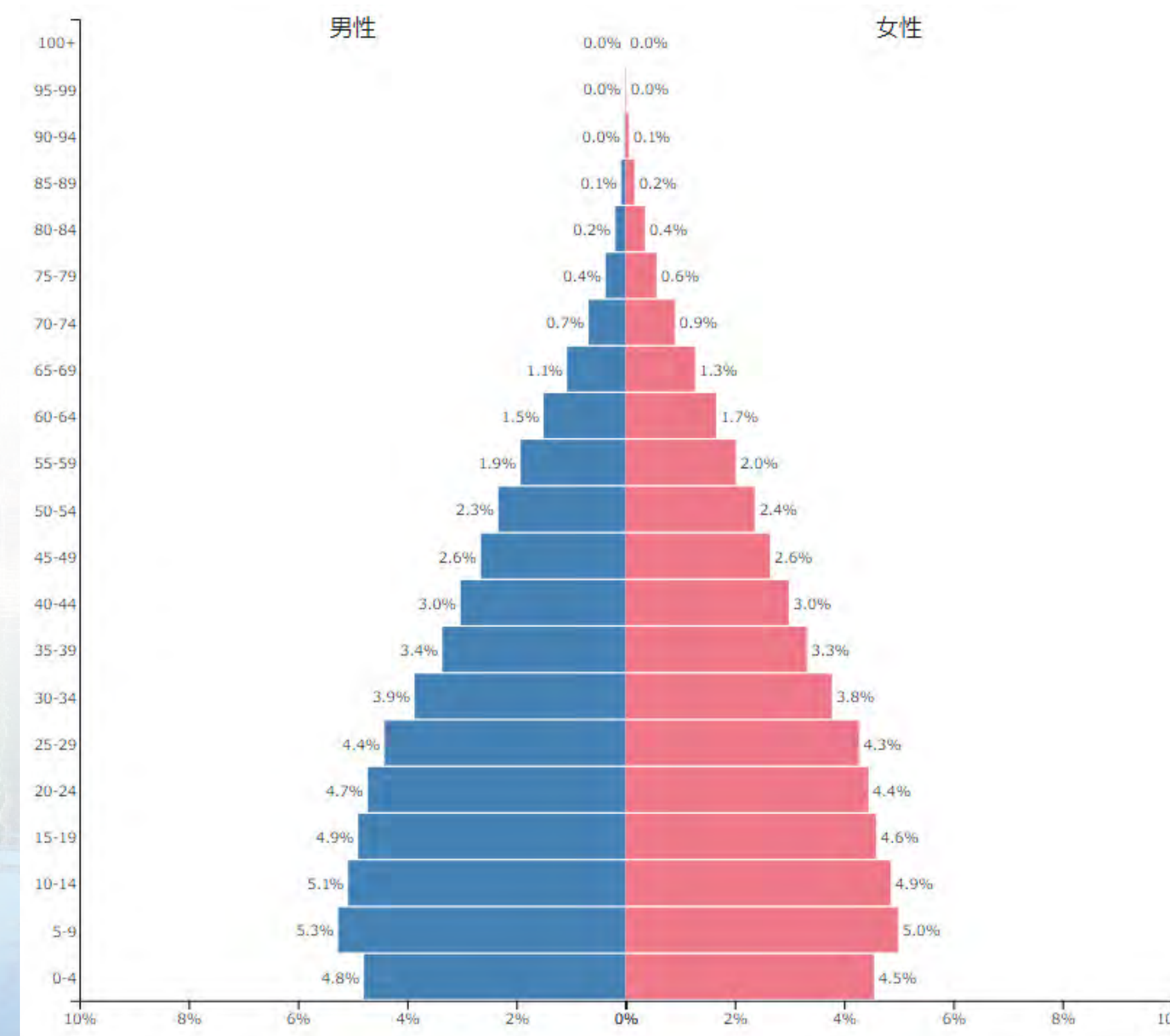
### 若年層の失業率 14.4%、110万6,000人

フィリピンは**人口1億98万人のうち19歳未満の人口比率は44%**で、インド(41%)、ベトナム(35%)、インドネシア(36%)、タイ(27%)、中国(24%)などと比較しても若年層の人口比率が高い水準となっています。

一方、フィリピン統計庁(PSA)によると、2019年時点の国内の失業率は5.4%で、不完全雇用率(基準労働時間数を下回り、より長く働くことを希望しかつ可能な状態の者の割合)は13.9%で、失業率、不完全雇用率としては、ともに2005年以降で最も低い値となっています。

ただし、**若年層(15歳から24歳)の失業率は14.4%**と高く、国内の全失業者数243万2,000人のうち、若年層は110万6,000人と全体の45.5%を占めるなど、年齢が低いほど失業者数が多いことが分かります。

フィリピン 2021年 人口ピラミッド





# 拠点となるフィリピンについて

## 世界第 14 位の高い英語力を有する国民性

### 海外就労に向けた国の取り組み成果

国際教育機関EF Education Firstが2018年に発表した報告書によると、世界88カ国の**英語力の国別ランキング**で、**フィリピンは14位**、**東南アジアではシンガポールに次ぐ2位**となり、英語力が高い国として位置付けられています。かつて約50年間、米国の統治下であり、英語を公用語とするフィリピンでは小学校1年生から英語の授業が始まり、その他の科目の授業も低学年から全て英語で行われます。これは、小学校を卒業するまでには英語力をつけて将来、**英語圏の国で就労することに備えさせるという国の政策**に基づくものでもあります。また、フィリピン国内で外資系企業やコールセンターといった比較的賃金の高い分野の職種に就くためにも、英語力が必要となることも背景にあります。





# フィリピンが抱える国際送金問題

**1,000万人が海外移住し、国内への送金額も年々増加**

フィリピンは世界最大の労働力輸出国と言われ、国民の10人に1人に当たる約1,000万人が海外に居住しています。国内に住む家族への仕送りなどの**国際送金額は年々増加し、将来的にはその規模は1,000億USDに達すると予測されています。**

しかし、それに伴う**高い送金手数料**により、本来フィリピン国内に入ってくるはずの資金が海外へと流れてしまっている現状は人々の不満だけでなく、フィリピン政府にとっても大きな課題とされています。

フィリピンの国際送金額 将来予測

**1,000億 USD**

**10%**  
10 ~ 30%

**海外からの送金手数料**

**100億 USD 損失**

**高額な手数料で国内への入金額が減少**



# フィリピンが抱える国際送金問題

## Blockchain 技術を活用し課題解決へ

### 銀行による送金

- ・送金手続きが面倒
- ・送金完了までに時間がかかる
- ・送金手数料が高い



### Blockchain による送金

- ・送金手続きが簡単
- ・送金完了に時間がかからない
- ・送金手数料が安い







# junca platform

プロジェクトについて







# junca platform

## 世界の金融ニーズに幅広く対応



ATM



ECサイト



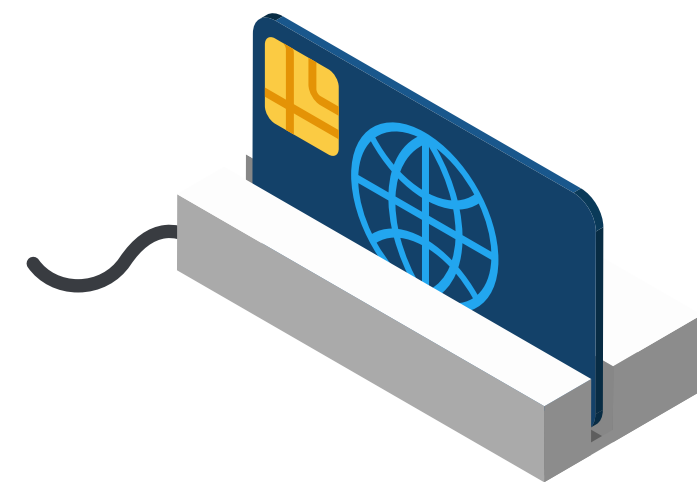
寄付



ネットバンク



暗号通貨取引所



クレジットカード



教育支援



決済

junca platformは、Blockchain技術に基づくサービスを提供し、国内外の送金、ATMやカード、ウォレット等での交換・決済を可能にします。これらが1つのアプリで完結することでユーザーにとって非常に利便性が高いものとなります。



# 会社のご案内



**junca Holdings**  
Fintech Crypto Service

<b>会社名</b>	junca Holdings
<b>代表者名</b>	永留 久之 Hisayuki Nagatome
<b>所在地</b>	junca Philippines Inc. Unit103 Santillan 7441 Santillan St. Corner Fernando St. PioDelPilar Makati City 1230, Philippines
<b>Mail</b>	info@junca-beauty.com
<b>URL</b>	<a href="https://junca-beauty.com">https://junca-beauty.com</a>
<b>事業内容</b>	美容サロン営業 / 暗号資産・両替事業 / 商品開発・流通業
<b>設立</b>	2009 年 12 月 17 日
<b>顧問</b>	Nihonbashi Law Office / Ryuki Ueda lawyer, Administrative scrivener corporation, Hoshino Tokyo Legal Management Joint Office / Katsumi Ito executive director Grow-will International Law Firm / Hidetoshi Nakano lawyer USTA Partners INC CEO・Hojo 5ap USA CEO / Sonoda Tetsuen (園田哲焉)
<b>グループ</b>	• junca Japan Inc. • junca Philippines Inc. • junca Global of Company • junca life management Inc. • junca construction and development



# junca platformのきっかけ

「純化」とは全てを本来の純粋な状態へ  
戻すことを意味します。

juncaは常に真の美しさを追求し、  
時が経つにつれて常に進化し続けています。

junca platformはjunca groupの世界展開の為に  
必要なプロセスとして発足されました。

junca salonが世界展開するにあたり、国境を跨いだ  
各店舗の会計管理および毎日の国際送金にかかる  
送金手数料の問題を解決することが必要になり開発された  
プラットフォームです。

このプラットフォームの機能により、フィリピン国の国際送金問題の  
解決にも貢献することができ、juncaの目指すアジア地域の  
経済・流通をよりスムーズにできることを確信しております。





# 表彰を企業として受賞

Golden globe awardをはじめ  
数々の表彰を受賞して参りました



Golden globe award 2018



Golden globe award 2019



# 代表のご案内

junca Group Company - 最高経営責任者

Dr. 永留 久之 Dr. Hisayuki Nagatome

Honorary Professor of the Academic Union, Oxford  
人文科学博士号／アートディレクター／コンサルタント／ヘアマスター

junca - 「純化」という美の概念を提唱し、世界を純化へと導く。  
社会貢献を軸に美容・金融・技術など多方面の事業を経営、また日本企業の海外進出支援等も行う。18歳のとき、人種や性別の差別がない美容業界に着目し、美容業界からキャリアをスタートさせる。  
またマーケティングをはじめとした、コンサルタントの実績も多く、国際社会においてひろくネットワークを築く。  
人道支援と経済性が共存したビジネスモデルを評価され世界の企業アワードからの受賞歴多数。





# 活動のご報告



John Bertiz 議員と Luis Campos 議員

2019/06 政府職員とフィリピン国会議員とのミーティング



2019/12 政府テレビ番組 PTVにて junca Project 特集



2020/02 OFW テレビ番組にて junca Project 特集



2019/11 Manila Standard 紙によるインタビュー記事掲載



# 活動のご報告



**2020/02** Task Force Kasanag  
とのパートナー契約締結



**2020/02** John Bertiz 議員  
Luis Campos 議員とのミーティング



**2020/03** OFW 管理議員団体  
とのパートナーシップ契約締結



General Manager Mr, Jojo Garcia 氏と会談

**2020/02** 政府機関 MMDA  
(マニラ首都圏開発庁)



**2020/02** ラジオ番組「RADYO  
PILIPINAS」にて junca Project 特集



**2020/03** Golden Globe annual Award  
とのパートナーシップ契約締結



# 活動のご報告



**2020/03** 政府テレビ番組PTV  
にてjunca Project特集



**2020/02** John Bertiz 議員と  
Luis Campos 議員より国会へと招かれ  
議事録にて junca 社について言及



**2020/08** John Bertiz 議員がホストを  
務めるテレビ局Eagle Newsにて  
junca Project特集

**junca platform はフィリピン議員団体とのパートナーシップ締結をはじめ、  
政府メディアでも特集される認知されたプロジェクトです**



# 活動のご報告



2021.09

## フィリピンの行政機関を通じてMMDAに寄付

フィリピンはロックダウンしているため、junca Groupは寄付プログラム「BREAD & WATER」を通じて地方自治体を積極的に支援しています。この写真は、junca Groupがフィリピンの行政機関を通じてMMDA（メトロポリタンマニラ開発局）に商品を寄付しているところです。



2021.09

## フィリピンの警視庁から感謝状を頂きました

junca Groupは、パンと飲料水をフィリピンナショナルポリス（フィリピンの警視庁）に寄贈いたしました。寄贈しました商品は困っている地域社会に配布されました。パンと水の配布に尽力してくれたフィリピンナショナルポリスに感謝します。





# SDGsに基づく取り組み

## 事業を通じ、ジェンダーの平等や教育を推進

SDGsは2015年9月の国連サミットで採択され、  
国連加盟193か国が2016年から2030年の15年  
間で達成するために掲げた目標です。

17の目標と、それらを達成するための具体的な169  
のターゲットで構成されています。

junca group会社は設立以来、これらの問題の多く  
に積極的に取り組んでおり、教育のためのjunca  
Academy、産業のためのjunca Development、  
安全な世界のためのjunca Life Managementに  
取り組んでいます。

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

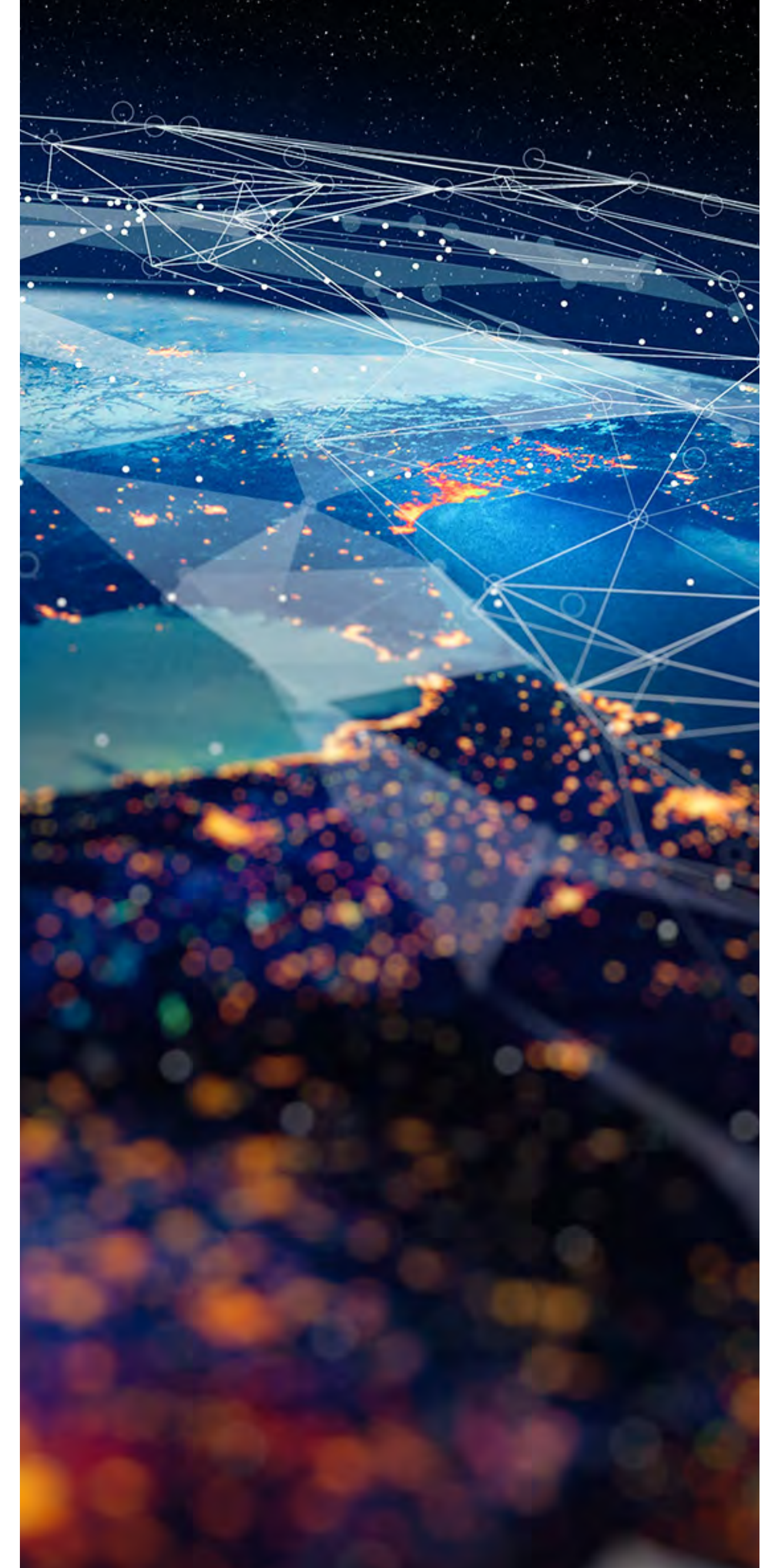






# junca Cash

プロジェクトの基軸暗号通貨ご紹介

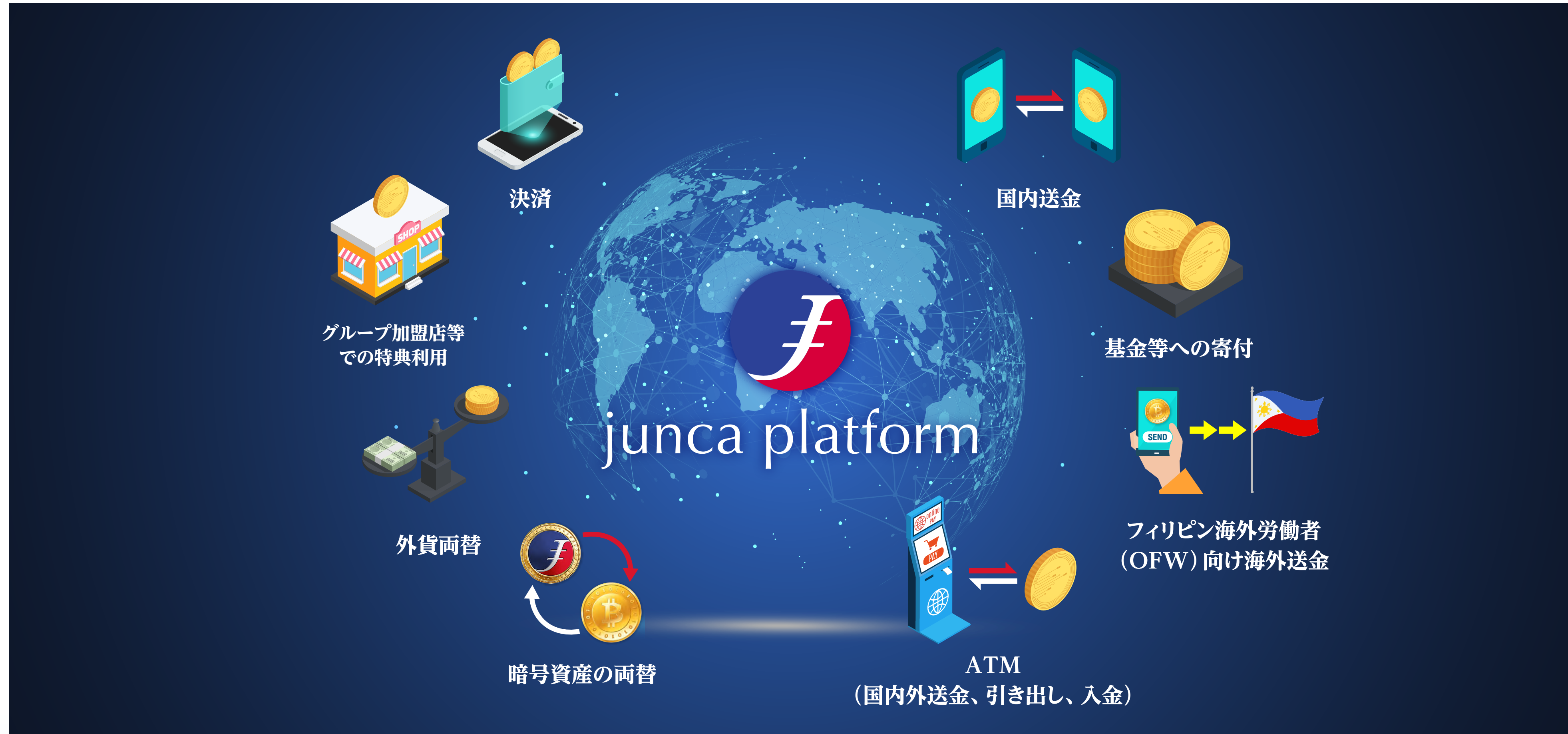






# junca Cash

junca platformにおける基軸暗号通貨



junca Cash と他暗号資産とは明白な差異があります。junca Cashは現在発表されている多種の暗号資産やそのサービスと比べて、非常に明確な用途を持ち、現在のフィリピンの経済構造に適応するように設計されています。



# JCC Walletについて



## junca Cash

### junca Cashはjunca platformの基軸通貨です

junca platformはフィリピン国内における決済やATM、海外フィリピン労働者(OFW)向けの送金利用を想定し設計されています。300億USD超の国外からの送金額は、将来的には1,000億USDを超えると試算されています。その莫大な送金額のシェアをページjunca platformで担うことを目標とし、送金手数料から生まれる利益や国内での決済利用はコインの価値を上昇させ、支えるものと予想されます。

名称	junca Cash
ティッカーシンボル	JCC
直近価格	\$ 0.62 ~ 1.20
主な利用目的	送付、送金、決済
総発行枚数	130,000,000 JCC
市場流出最大枚数	40,000,000 JCC



# junca platformについて

## junca Platform ロードマップ

junca Platformは今後1年半を3つのフェーズに分けてレベルアップを行います。

第一フェーズではインフラ整備として、独自チェーンを作り、チェーン上の取引手数料を0に近づけることによって、フィリピン国内外の送金をスムーズにすることを目標としています。その中でも「セカンドレイヤーチェーン」「ステーブルコイン」は今年のアップデートの二大目玉となっており、特に「ステーブルコイン」はフィリピン金融機関によって実際にフィリピンペソをアセットバックします。

セカンドレイヤーチェーンのネイティブトークンとしてはJCC (“Junca Cash Chain”)を現JCC (“Junca Cash”)改め採用予定です。

第二フェーズでは、OFWが国外に送金したお金をJCC経済圏内でそのまま使えるようにECサイトであったり、経済圏にコインが循環する為のコンテンツの充実化を行います。

最終の第3フェーズではブロックチェーン経済圏としてコンテンツの充実化を図るため、JCCトークンに関連したNFTやGamefiもリリースする予定です。



# junca platform について

## 第 1 フェーズ

### JCC 経済圏のインフラ整備

予定：2024 年内

#### ① ウォレットアプリの大幅アップデート

- ウォレットアプリの機能を含め、アプリ内の大型改造。
- ERC-20 トークンへの対応だけでなく、独自チェーン含む Ethereum 以外のマルチチェーン対応まで拡張し、ウォレット内でチェーンを跨ぐ取引を可能にする。
- マルチチェーンとしては BTC や BUSD などのメジャートークンを予定している。
- また、クレジット決済や QR コード決済をアプリ内に導入し、JCC を手軽に購入 / 使用することが可能になる。
- QR 決済機能の導入により店舗での決済端末としてのマーケット拡大も可能となる。

#### ② セカンドレイヤーチェーンの採用

- セカンドレイヤーチェーンを採用し独自のチェーンを作ることによって手数料 0 に近づけ、少額取引や日々の支払いに優しい UX の実現。フィリピン国内外の送金をスムーズに行う事ができる。

#### ③ フィリピンペソとのペグしたステーブルコインを発行

- データベース上ではなく、フィリピンペソを実際にアセットバックしてステーブルコインを発行。各変動のボラティリティはフィリピンペソと同様にも関わらず、国際送金手数料を大幅に削減し、また金銭のやり取りも高速化

## 第 2 フェーズ

### ユーティリティトークンとしての 価値向上の為にコンテンツの提供開始

予定：2024 年 1 月～ 6 月

#### ① EC サイトの設立

#### ② Defi の構築

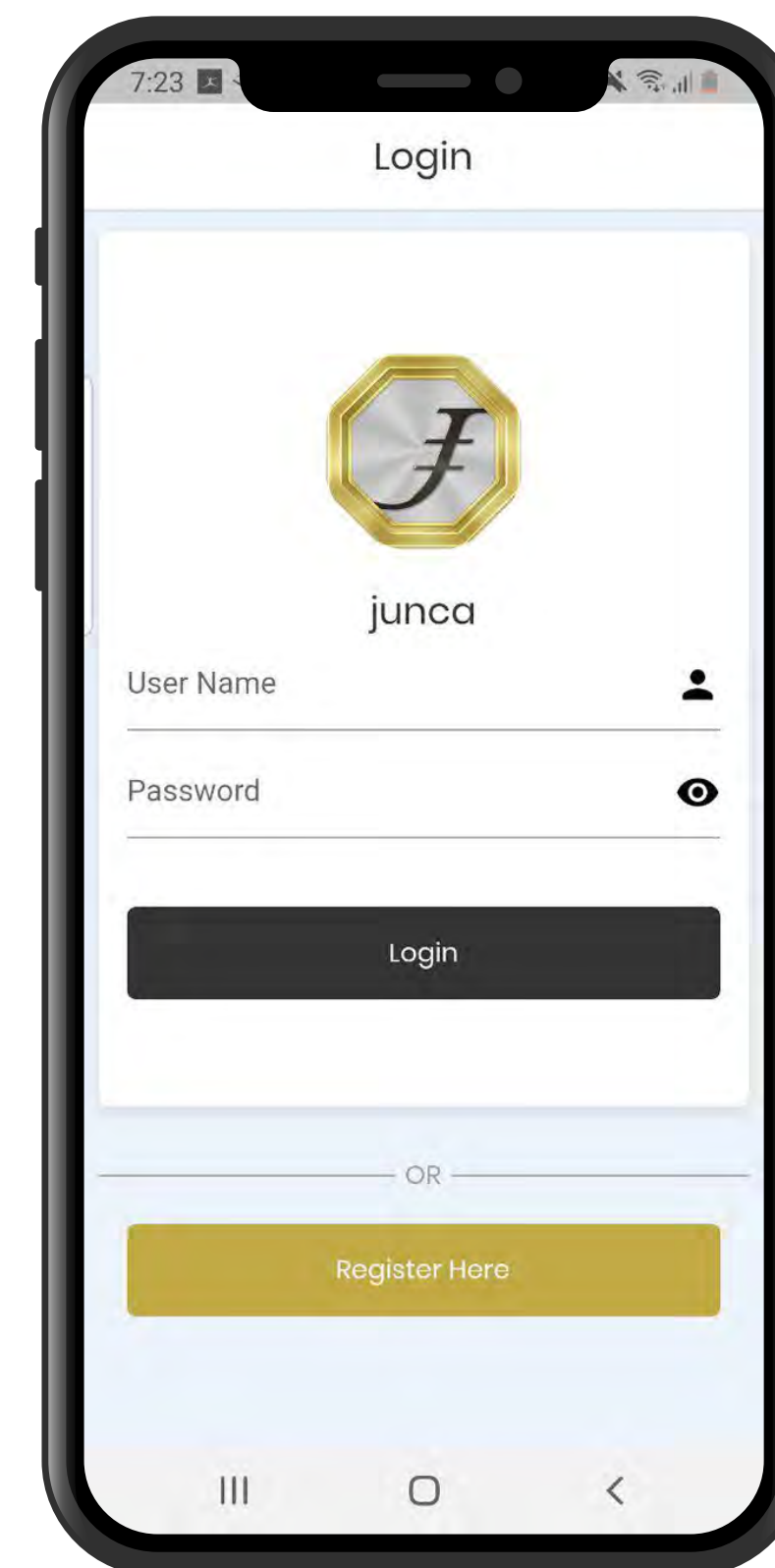
## 第 3 フェーズ

### 経済圏としてのコンテンツの充実化

予定：2024 年 6 月以降

#### ① NFT 発行

#### ② Gamefi への進出





# フィリピンにおける金融事業

## 2024年春のサービス開始に向け準備中

### junca Global group of company

2019/06

junca Global group of company 設立

junca groupの金融セクションを担うjunca Globalはフィリピン国内における**金融事業を開始するためのプロセスが順調に進んでおります。**





# OFW 関連機関とのパートナーシップ契約を締結

ACTS-OFW とのパートナーシップ締結により  
JCC メインターゲットへの確実なアプローチが可能に



JCCの強みの一つは、メインターゲットの関連機関とすでにパートナー契約を終えてることです。サービスの開始とともに、メインターゲットへ間違いなくサービスを届けることが出来る状態が出来ていることはプロジェクトの発展の裏付けとなります。



# junca Cash で発行される JCC 及びフィリピンペソコイン開発

## 「junca global chain」の実装

junca eco system の基軸となる、独自チェーン「junca global chain」の実装を2024年8月に予定しております。これによりトランザクション手数料及びトランザクションスピードの問題解消を行う事が出来るようになります。

またjunca global chain でのJCCも発行され、Tier1の取引所でのIEO上場を2024年8月に予定されています。

2024年末には、フィリピンペソとペグされたPHPステーブルコインの発行も junca global chain より予定されています。

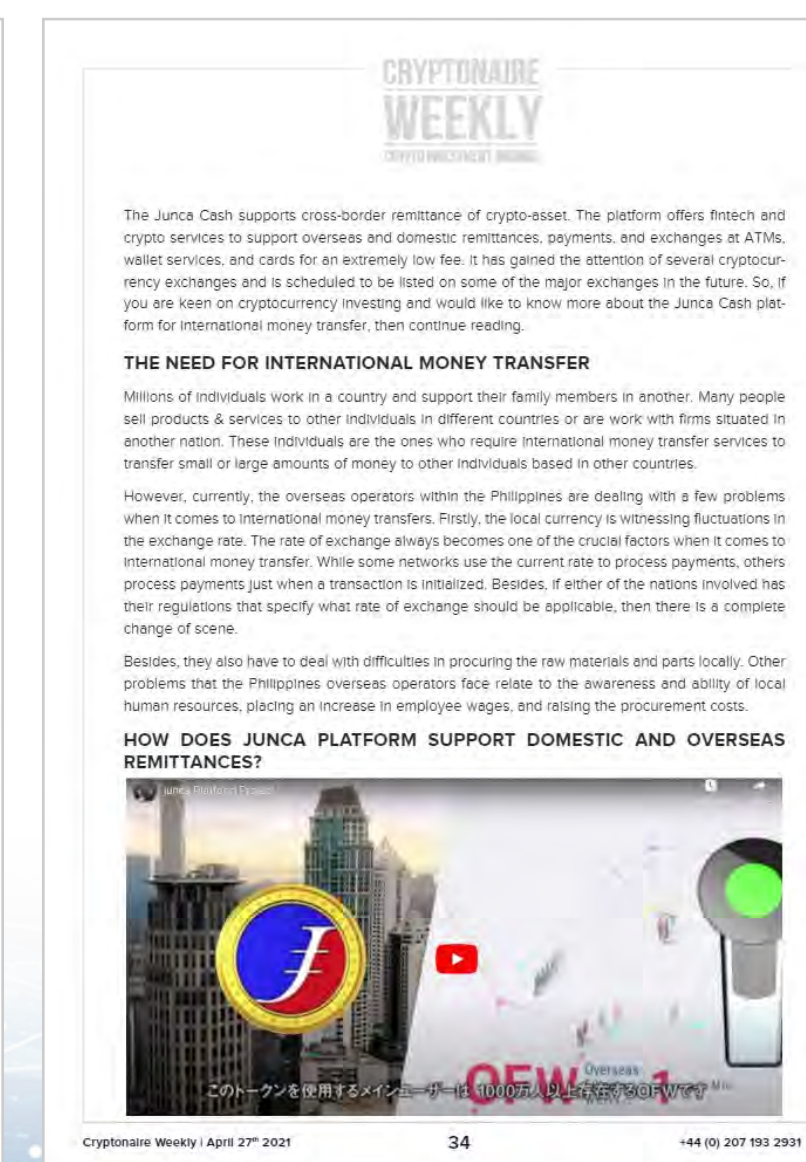




# イギリスの専門機関誌にて junca Platform Project が掲載

## 専門家で構成されたチームが 注目すべきプロジェクトとして紹介

junca Platform Project が Platinum Crypto Academy が出版する Cryptonaire Weekly にて取り上げられました。Platinum Crypto Academy は 2011 年以來、デジタル通貨の取引に関する全ての経験と専門知識を持っているプラチナチームから編成され、**この業界から利益を得る方法を学びたい人々に絶えず一流の取引教育を提供しているプラットフォームです。** junca Platform Project はこのように、業界を知り尽くした専門家の方々からの分析を経て、皆様に紹介したい、また注目すべきプロジェクトとして紹介をしていただきました。





# 一般市場からのJCC買い戻し実施について

## 97%超の自社グループ所有率へ回復

2020年、JCC価格が80倍へと高騰した後の9月の暴落以降、精力的に取り組んでおりました**マーケットでのJCC買い戻しにより、2021年1月31日に、弊社関係のJCC保有率を97%超まで回復**することが出来まし

た。97%超まで保有率を回復したことにより、今後のマーケットの安定的成長の為の条件を満たした事になり、弊社主導で通貨の流通をマネジメントすることが可能となります。

**現在の価格はJCC第二期のスタート準備価格となっております。**コロナ禍の社会情勢でマーケティングが困難な中、当初の計画より早くヨーロッパマーケットへの進出が叶うことになりました。ヨーロッパの大手取引所への上場を機に、新たなマーケット形成が行われます。

総発行枚数 130,000,000

マーケット枚数 112,000

回復率 97%超

2021年1月時点



# junca platformが目指すもの

## OFW 年間送金額の シェア 30% 獲得を目標

公表されている数値からの推定では、海外送金需要の1%を当Cashの4000万JCCに充てられた場合、1JCCあたり年間13.86USドルの流通量を担うこととなります。

2024年には30%のシェアを目標とし、1JCCあたり415.9USドルになると予想されます。さらに、国内決済に利用されることで2倍に上昇する可能性があります。

つまり、1%のシェアで約27USD/JCC、30%のシェアで約830USD/JCCと推定されます。

国際送金額の1JCCあたりの流通量

1% 13.86 USD / JCC

30% 415.90 USD / JCC

さらに、国内決済の利用促進で2倍に上昇

1% 27.72 USD / JCC

30% 831.80 USD / JCC



# JCC 取り扱い取引所

世界の主要取引所での取り扱いが順次行われます



今後プロジェクトの進展に伴い、世界の代表的な取引所への上場もスケジュールされています。

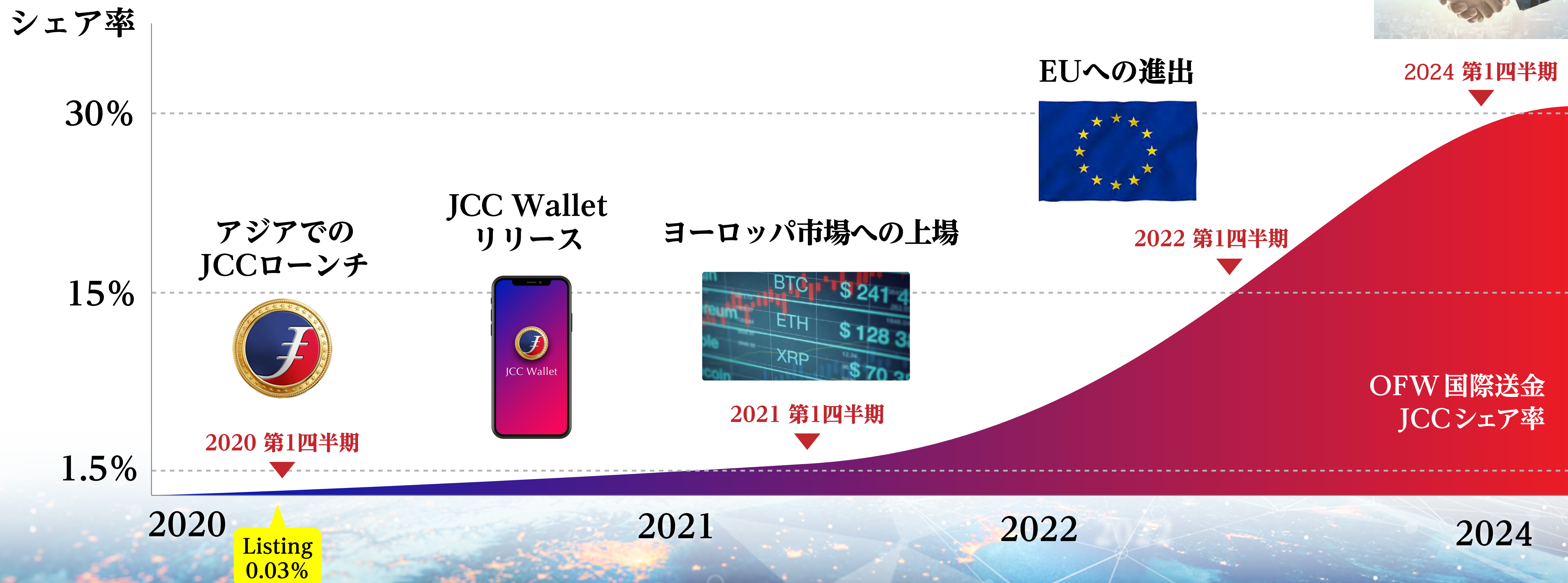
※ junca platform プロジェクトは上場オファーを世界中の取引所からいただいています。



# ロードマップ

## 海外フィリピン人労働者 (OFW) の 国際送金でのJCCシェア率を拡大

世界における  
プレゼンスの向上





# リスク要因

## サイバー攻撃リスク

暗号通貨は一般的にハッカーの対象になりやすい傾向にあります。サイバー攻撃によりJunca Cashに悪影響を及ぼすケースがあります。

## 通信ネットワークリスク

暗号通貨は本来、通信ネットワーク環境がなければ動かない性質です。もしも、世界の通信ネットワークが停止した場合、Junca Cashは稼働しない場合があります。但し、ウォレットに入金した暗号通貨が通信障害で失われることはありません。

## 法令・税制変更リスク

法律が変わりIEO等を規制する場合、暗号通貨が流通しなくなる場合もあります。また、税法が変わり、利益に対する課税が大きくなる場合があります。

## 価格不安定リスク

暗号通貨は市場の状況や世界経済の影響で価格が不安定になる場合があります。目標とする価格を維持できない場合も想定されます。

## 暗号通貨運営リスク

暗号通貨を運営する場合、各国で法律が変わり、普及を狙った国で運営ができなくなる可能性があります。



# 最後に

## 誰もが可能性を探求できるフェアな世界へ



我々は美容の世界における経験と実績、そして最先端のテクノロジーによるjunca platformプロジェクトを通じ、人種や性別で差別されることのない世界を目指し、アジアのさらなる経済発展へ向けより一層の事業展開を行って参ります。

世界平和の実現のため多くの皆様とともに共感し、ともに歩めれば幸いです。





# junca platform

Pray for world peace